

受付印

	紙	円
	郵便切手	円

<input checked="" type="checkbox"/> 調停 寄与分を定める処分	申立書 <input type="checkbox"/> 審判
---	------------------------------------

(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)

(貼った印紙に押印しないでください。)

この申立書を提出する裁判所名

この申立書を作成した日

水戸 家庭裁判所 〇〇支部 御中 令和 〇年 〇月 〇日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	甲野 一郎 印
------------------------------------	-----------------------------	--

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input checked="" type="checkbox"/> 戸籍(除籍・改製原戸籍)謄本(全部事項証明書) 合計 〇通 <input checked="" type="checkbox"/> 住民票又は戸籍附票 合計 〇通	準口頭
------	--	-----

被相続人	本籍(国籍)	〇〇都道 〇〇市 〇〇町 〇番地 府 〇県
	最後の住所	〇〇都道 〇〇市 〇〇町 〇番地 府 〇県
	フリガナ氏名	ヨウノジロウ 甲野 二郎 平成 〇年 〇月 〇日死亡

相手方に知らせてもよい住所を記載し、併せて送達場所等及び連絡先の(口変更)届出書を提出してください。連絡先を相手方に秘匿したい場合には、同届出書の「3 送付(送達)場所及び連絡先の非開示希望の申出について」の該当欄にチェックを付けて提出してください。

申立人	本籍(国籍)	〇〇都道 〇〇市 〇〇町 〇番地 府 〇県
	住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県△市〇〇町〇丁目〇番〇〇号
	フリガナ氏名	ヨウノイチロウ 甲野 一郎 大正 〇年 〇月 〇日生 昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日生 平成 (〇〇歳)
	被相続人との続柄	長男

(注) 太枠の中だけ記入してください。
 □の部分には該当するものにチェックしてください。
 寄与分(1/)

当 事 者 目 録

<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 申 相 立 手 人 方	本 籍 (国 籍)	〇〇 都 道 府 県	〇〇 市 〇〇 町 〇 番 地
	住 所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 茨城県 〇〇 市 × × × 〇 町 目 〇〇 番 〇〇 号	
	フリガナ 氏 名	オツカワ ハルコ 乙 川 春 子	大正 昭和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 生 平成 令和 (歳)
	被相続人 との続柄	長 女	
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 申 相 立 手 人 方	本 籍 (国 籍)	都 道 府 県	
	住 所	〒 — (方)	
	フリガナ 氏 名		大正 昭和 年 月 日 生 平成 令和 (歳)
	被相続人 との続柄		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 申 相 立 手 人 方	本 籍 (国 籍)	都 道 府 県	
	住 所	〒 — (方)	
	フリガナ 氏 名		大正 昭和 年 月 日 生 平成 令和 (歳)
	被相続人 との続柄		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 申 相 立 手 人 方	本 籍 (国 籍)	都 道 府 県	
	住 所	〒 — (方)	
	フリガナ 氏 名		大正 昭和 年 月 日 生 平成 令和 (歳)
	被相続人 との続柄		

(注) □の部分は該当するものにチェックしてください。

寄与分(/)

申 立 て の 趣 旨

申立人の寄与分を定める調停を求める。

申 立 て の 理 由

- 1 申立人は、被相続人甲野二郎（平成〇年〇月〇日死亡）の長男であり、相手方乙川春子は、被相続人の長女です。被相続人は、精密機器の部品を製作する工場を経営していました。
- 2 申立人は、昭和〇〇年3月に高校を卒業すると同時に、被相続人の希望もあり、被相続人の経営する工場を無給で手伝うようになりました。当初は、部品の製造作業のみを担当していましたが、平成〇年〇月ころからは、営業を担当するようになるとともに経営にも関与するようになりました。
- 3 その結果、工場（会社）の取引先も広がり、売上げも大きく伸びました。またこの間、申立人は被相続人と同居し生活をともにしてきました。
- 4 そこで、申立人は、相手方に対し、被相続人の遺産分割協議の際、前記労務の提供による被相続人の財産の増加、維持に対する申立人の寄与を主張しましたが、相手方はこれに応じないため、本申立てをします。

寄与分(/)